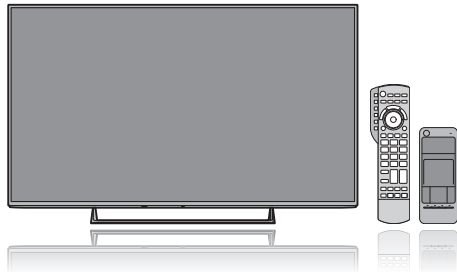
Panasonic

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

品番
TH-60CX800　(60V型)
TH-55CX800　(55V型)
TH-49CX800　(49V型)
TH-60CX800N (60V型)
TH-55CX800N (55V型)
TH-49CX800N (49V型)

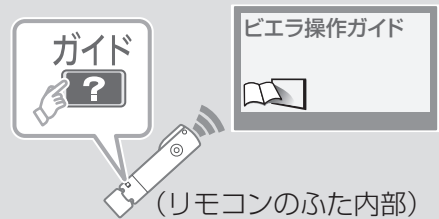
(イラスト:TH-60CX800)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」(本書)および「ビエラ操作ガイド」(テレビに内蔵)をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」➡ P. 4～9を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

ビエラ操作ガイドを見るには

(リモコンのふた内部)

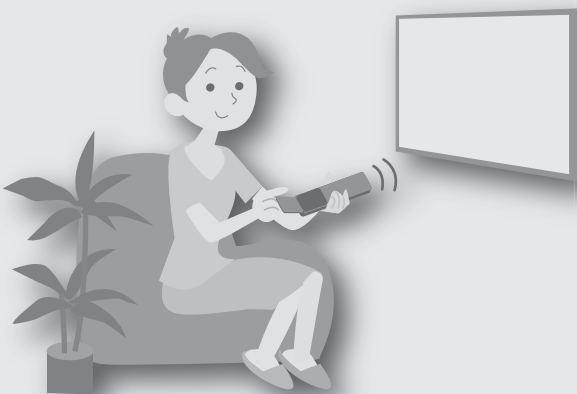
TQBA0987-2
M0315-2105

マニュアルについて

本機のマニュアルは、取扱説明書(本書)と、ビエラ操作ガイド(テレビに内蔵)で構成しています。
以下を参考に、必要に応じて取扱説明書またはビエラ操作ガイドをご覧ください。

安全上のご注意
本機の設置／接続／初期設定
などは

▼

取扱説明書(本書)

(本書は2015年4月現在の情報に基づいて作成しています。)

リモコンの ガイド ? (ふた内部)を押す

こんなことができます(本機の特長)
詳細な設定や操作
機能説明／困ったとき
などは

▼

ビエラ操作ガイド(テレビに内蔵)

- 本機の画面上で、設定や操作などの情報を見ることができます。
- 「こんなことができます(本機の特長)」の使い方については ➡ P. 33

さらに、連携機器情報/サポート情報などは 当社ホームページ
(http://panasonic.jp/viera/)

＊ブラウザのアドレスバーに「viera.jp」と入力してください。

- 「Webブラウザ」対応機種は、本機でWebブラウザを起動し、ホームページをご覧いただけます。
(ご利用になるには、ブロードバンド環境に対応したネットワーク接続と設定が必要です。)
- お手持ちのパソコンのブラウザからでも、ご覧いただけます。

ホームページでは、本機を使用していただくための以下の情報などを掲載しています。
- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」
- 連携できる機器品番情報などを確認できる「動作確認情報一覧」
- ソフトウェアのバージョンアップ情報やアプリ情報、機能情報など
- 本機の取扱説明書やビエラ操作ガイド(pdf形式)※
  ※　お手持ちのパソコンからご覧ください。(本機からご覧になることはできません。)

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください ➡ P.4～9

- 本書やビエラ操作ガイドのイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 本書の説明イラストは、TH-60CX800を元に作成しています。
- 本書で使用しているアイコンとその意味

アイコン	意　味
ビエラ操作ガイド	ビエラ操作ガイドを参照してください。
➡ P. ○○	本書の○○ページを参照してください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグの取り扱いについて

電源プラグを抜く

■ 異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- ● すぐに電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- ● お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- ● 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

ぬれ手禁止

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因になります。

■ 傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
■ 本機に付属のもの以外は使用しない
■ 破損するようなことはしない

- 傷つける
- 加工する
- 熱器具に近づける
- 無理に曲げる
- ねじる
- 引っ張る
- 重い物を載せる
- 束ねる　　など

感電やショートによる火災の原因になります。

- ● 修理は、販売店にご依頼ください。

■ 交流 100 V以外で使用しない
■ コンセント・配線器具の定格を超えて使わない
■ たこ足配線などをしない
発熱による火災の原因になります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグの取り扱いについて

■ **電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く**

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

テレビ本体の取り扱いについて

水ぬれ禁止

■ **本機の上に液体の入った容器などを置かない**

液体が内部に入ると火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

■ **風呂場などで使用しない**

火災・感電の原因になります。

接触禁止

■ **雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない**

感電の原因になります。

分解禁止

■ **裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しない**

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

■ **内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れない**

火災・感電の原因になります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■ **不安定な場所に置かない**

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

■ **壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください**

工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。

● 指定の取り付け金具をご使用ください。

無線対応機器の取り扱いについて

■ **病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない**

■ **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない**

本体や音声タッチパッドリモコンからの電波が医療用電気機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ **心臓ペースメーカーを装着している方は本体や音声タッチパッドリモコンを装着部から22 cm以上離す**

本体や音声タッチパッドリモコンからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

誤飲防止について

■ **メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない**

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

電源コード・電源プラグの取り扱いについて

電源プラグを抜く

■ **長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

■ **お手入れのときは、安全のため、まず電源プラグをコンセントから抜く**

感電の原因になることがあります。

■ **電源プラグを持って抜く**

電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

テレビ本体の取り扱いについて

■ **通風孔をふさがない**

■ **スタンド使用時は、本機下面と床面との空間をふさがない**

■ **風通しの悪い狭い所で使用しない**

■ **あおむけや、横倒し、逆さまにして使用しない**

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かない**

火災・感電の原因になることがあります。

■ **強い力や衝撃を加えない**

液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

テレビ本体の取り扱いについて

■ **本機の上に物を置かない、乗らない、ぶら下がらない**
倒れたり、壊れたり、落下してけがの原因になることがあります。

■ **接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない**
火災・感電の原因になることがあります。

■ **本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据え付ける**
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ **接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っ掛けたりしないように処理を行う**
火災・感電・けがの原因になることがあります。

■ **移動させる前に接続線などを外す（電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品）**
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

■ **開梱や持ち運びは２人以上で行う**
落下してけがの原因になることがあります。

■ **通風孔に付着したゴミをこまめに取り除く**
長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。

- 湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。
  なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または、相談窓口までご相談ください。
  ➡ P. 46

スタンドの取り扱いについて

■ **付属のスタンドは、本機以外には使用しない**
けがの原因になることがあります。

■ **スタンドは、指定の手順以外では取り外さない**
倒れてけがの原因になることがあります。 ➡ P. 12～15

■ **付属の転倒・落下防止部品を使用して固定する**
➡ P. 13、15

■ **ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止める**
転倒・落下によるけがの原因になることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

■ **新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しない**

■ **日光、火などの過度な熱にさらさない**

■ **極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れない**

取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

- 挿入指示通り正しく入れてください。 ➡ P. 27、29

■ **長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す**

液もれ・発熱・発火・破壊などを起こし、火災や周囲を汚損する原因になることがあります。

3D映像の視聴について

■ **光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない**

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像の視聴中は、距離感が混乱したり、距離を誤る可能性があります。

■ **誤ってテレビ画面や周りの人や物をたたかない**

■ **周囲に壊れやすいものを置かない**

周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。

■ **3D映像の視聴中に、疲労感、不快感を感じたり、画像がはっきりと2重に見えるなど、異常を感じたときは視聴を中止する**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見え方には個人差がありますので、「3D奥行き設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

■ **3D映像の視聴年齢は、およそ5〜6歳以上を目安にし、お子様が視聴するときは、保護者の方がお子様の安全や体調について注意する**

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

■ **3D映像は画面の高さの3倍以上離れて視聴する**

近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。

- 画面の高さ(画面寸法)は、仕様のページをご確認ください。
➡ P. 44

■ **3D映像は、両目を水平に近い状態にし、画像が2重に見えない適切な位置で視聴する**

映像が正しく見えないことによる目の疲れの原因になることがあります。

注意

3Dグラス(別売品)の取り扱いについて

■ **3Dグラスは、3D映像の視聴以外には使用しない**
けがや目の疲れの原因になることがあります。

■ **3Dグラスをかけたまま移動しない**
転倒してけがの原因になることがあります。

■ **3Dグラスを落としたり、曲げたり、力を加えたり、踏んだりしない**

■ **破損した3Dグラスを使用しない**
けがの原因になることがあります。

■ **3Dグラスに異常・故障があったときは直ちに使用を中止する**
目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。

■ **鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみが生じたら3Dグラスの使用を中止する**
ごくまれに、塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。

■ **近視、遠視、乱視や左右の視力が異なる方は、視力を適切に矯正したうえで3Dグラスを使用する(視力矯正めがねを装着したまま3Dグラスを装着することができます)**
目の疲れの原因になることがあります。

■ **3Dグラスを装着する時は、フレームの先端に注意する**
目をついてけがの原因になることがあります。

■ **3Dグラスのヒンジ部に、指を挟まないようにする**
けがの原因になることがあります。

アンテナの設置について

■ **アンテナ工事は、販売店に相談する**
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。
- BS、CS放送受信用のアンテナは、強風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けてください。

壁掛け設置について

(工事専門業者様へ)

■ **壁掛け設置のための取り付け金具を使用するときは、施工説明書に従って取り付ける**
落下してけがの原因になることがあります。

本機で受信できる放送

- 本機では４Kの放送は受信できません。
- 本機ではワンセグ放送は受信できません。

地上デジタル放送

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

衛星（BS・110度CS）放送

■ BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite（ブロードキャスティング サテライト））を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
WOWOW（ワウワウ）やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

■ 110度CSデジタル放送

通信衛星（Communications Satellite（コミュニケーションズ サテライト））を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー！」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

ケーブルテレビ（CATV）

- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

お問い合わせ先

- **総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター**（地デジコールセンター）

電話番号：
0570−07−0101（IP電話等でつながらない場合は、**03−4334−1111**）

- **一般社団法人 デジタル放送推進協会**

http://www.dpa.or.jp/

- **「WOWOW」**

公式ホームページ：
http://www.wowow.co.jp/
カスタマーセンター：
0120−580−807

- **「スター・チャンネル」**

公式ホームページ：
http://www.star-ch.jp/
カスタマーセンター：
0570−013−111（ナビダイヤル）
（PHS・IP電話のかたは**045−650−4724**）

- スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。

- **「スカパー！」**

公式ホームページ：
http://www.skyperfectv.co.jp/
スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）
TEL：**0120−039−888**

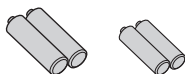
付属品・別売品

付属品

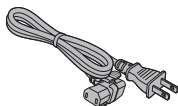
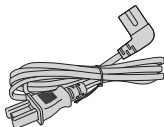
＜ ＞は個数です。

メインリモコン
（品番：N2QAYB001016）
➡ P. 26

音声タッチパッドリモコン
（品番：N2QBYA000013）
➡ P. 28

単3形乾電池 ＜2＞
単4形乾電池 ＜2＞
➡ P. 27、29

電源コード
➡ P. 17

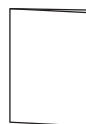
（TH-49CX800、
TH-49CX800N）

（TH-60CX800/
TH-55CX800、
TH-60CX800N/
TH-55CX800N）

B-CAS（ビーキャス）カード
➡ P. 18

スタンド（一式）
➡ P. 12、14

転倒・落下防止部品（一式）
➡ P. 13、15

クランパー ＜2＞
（TH-60CX800N/TH-55CX800N/
TH-49CX800N）
➡ P. 24

取扱説明書

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- ご相談、お問い合わせの際は、お客様のテレビの品番（本書の表紙に記載の TH-○○○○○）をお伝えください。
- 電源コードキャップ※および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
  ※付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。

別売品

別売品については、お買い上げの販売店へご相談ください。

- 壁掛け金具

本機を壁掛け設置するときに使用します。
➡ P. 16

- 3Dグラス

偏光フィルム方式の3Dグラスをご使用ください。

- 接続ケーブル・コード

本機と外部機器を接続するときに使用します。
➡ P. 18～23

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください

パナソニックグループのショッピングサイト
http://jp.store.panasonic.com/

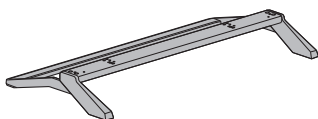
Panasonic Store

本機の設置

TH-60CX800/TH-55CX800/
TH-49CX800

本機にはスタンドを付属しています。スタンドをご使用の際は、「スタンドの取り付け」をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

構成部品

＜ ＞は個数です。

スタンド本体

スタンド金具＜2＞

組み立て用ねじ

金具固定用ねじ(黒)＜4＞ (M5×10)

本体固定用ねじ(黒)＜4＞ (M4×12)

B-CASカードと同じ袋に入っています。

転倒・落下防止部品

ベルト

ねじ(黒)

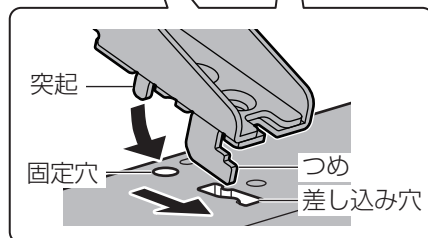
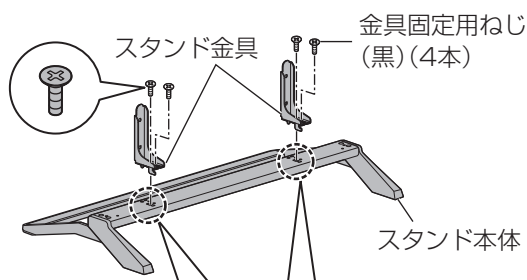
木ねじ(シルバー)

スタンドの取り付け

1 スタンド金具を取り付ける

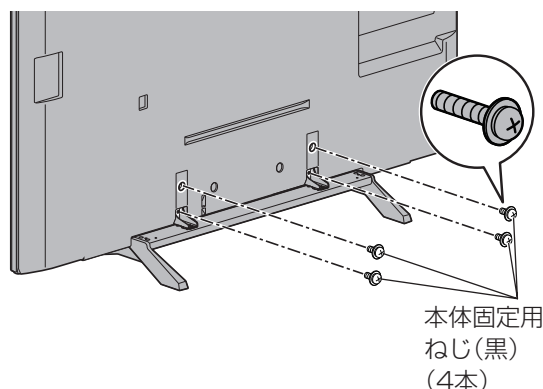
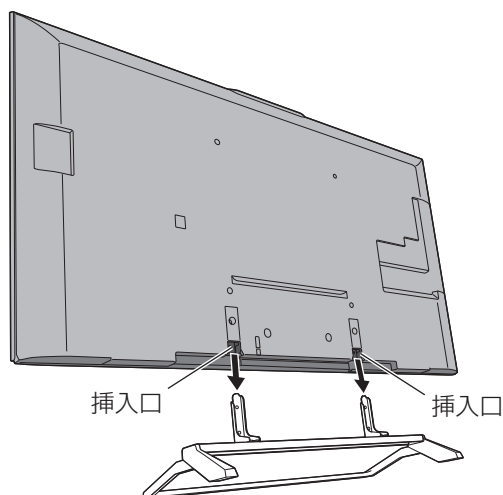
(1) スタンド金具のつめをスタンド本体の差し込み穴にひっかけ、スタンド金具の突起をスタンド本体の固定穴に合わせてはめこむ。

- スタンド金具の突起がスタンド本体に乗り上げないように注意してください。

(2) スタンド金具を押さえながら金具固定用ねじ(4本)を軽く締め、その後しっかりと締め付けて固定する。

2 テレビ本体を取り付ける

取り付けは、必ず2人以上で行ってください。

- テレビ本体を包装箱から出してスタンドに取り付けます。

(1) テレビ本体の挿入口に止まる位置まで差し込む。
(2) 本体固定用ねじ(４本)を使って、しっかりと固定する。

■ 取り外しかた

テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒･落下防止部品を外したあと、必ず「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。

- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

転倒･落下防止

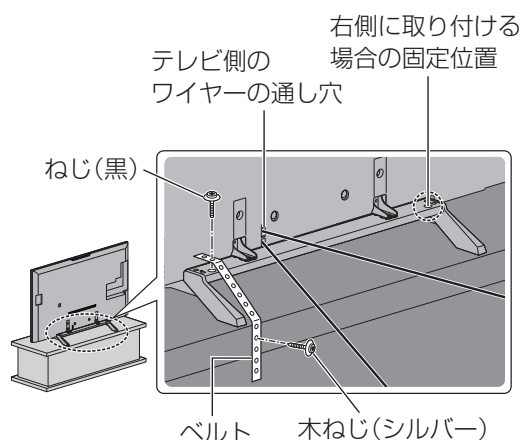
地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒･落下防止処置をしてください。

- 本欄の内容は、地震などでの転倒･落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
  付属品の転倒･落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

1 スタンドにベルトを取り付ける

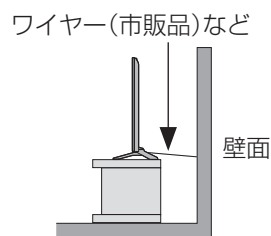
スタンドの左右どちらでも取り付けできます。

2 テレビ台に固定する

テレビ台やラックの取扱説明書の指示に従って取り付ける。

3 壁面に固定する

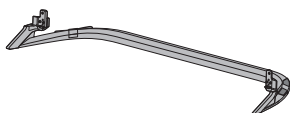
テレビ側の通し穴に、ワイヤー(市販品)などを通して固定する。

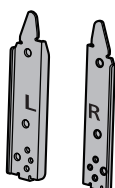
- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

準備 本機の設置

TH-60CX800N／TH-55CX800N／TH-49CX800N

本機にはスタンドを付属しています。スタンドをご使用の際は、「スタンドの取り付け」をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

構成部品

＜ ＞は個数です。

スタンド本体

スタンド金具＜２＞（L、R）

組み立て用ねじ

金具固定用ねじ（シルバー）＜４＞

（M4×8）

B-CASカードと同じ袋に入っています。

組み立て用ねじ

本体固定用ねじ（黒）＜４＞

（M4×12）

転倒・落下防止部品※

木ねじ（シルバー）＜２＞

※転倒・落下防止用処置に使用するベルトは、スタンド本体にテープで固定しています。

スタンドの取り付け

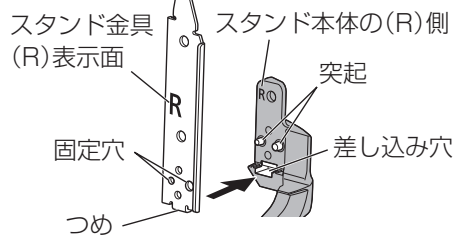
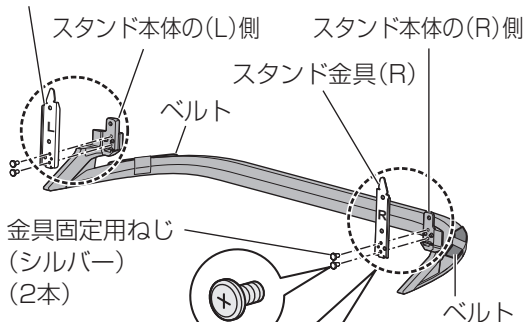
1 スタンド本体を設置する

- ベルトを固定しているテープは、転倒・落下防止処置をするまで外さないでください。

2 スタンド金具を取り付ける

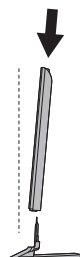
（1）スタンド金具の固定穴（2か所）とつめをスタンド本体の突起（2か所）と差し込み穴にはめ込む。

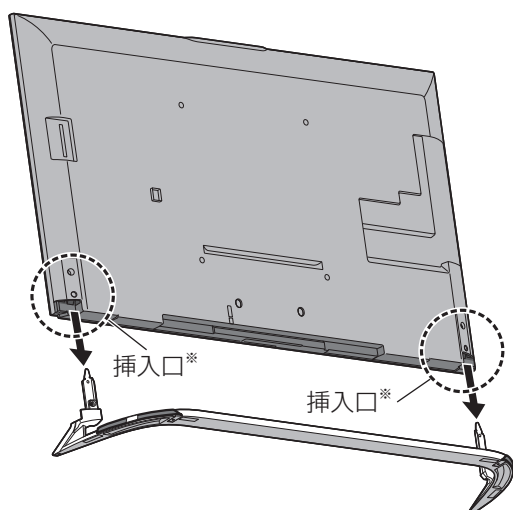
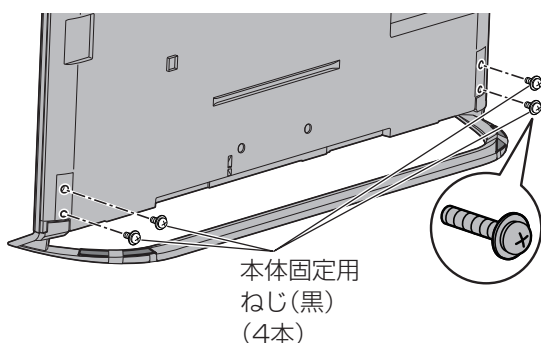
スタンド金具とスタンド本体の「L」または「R」の印を、それぞれあわせて取り付けてください。

（2）スタンド金具を押さえながら金具固定用ねじ(2本)を軽く締め、その後しっかりと締め付けて固定する。

（3）反対側も同様に固定する。

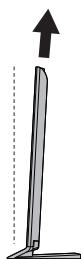
3 スタンド金具の傾きに沿って、テレビ本体を止まる位置まで差し込む

取り付けは、必ず2人以上で行ってください。

- テレビ本体を包装箱から出してスタンドに取り付けます。

4 スタンドに固定する

（1）本体固定用ねじ（4本）を使って、しっかりと固定する。

※テレビ本体を取り付けるときは、挿入口付近を持たないでください。

■ **取り外しかた**

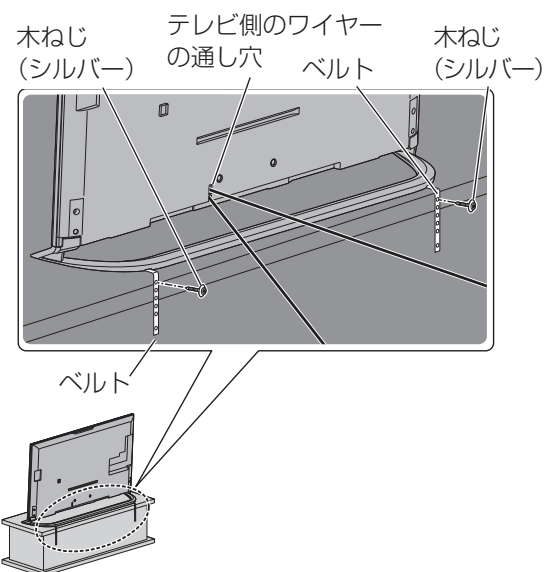
テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒･落下防止部品を外したあと、必ず「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。

- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。
- テレビ本体を取り外すときは、テレビ本体の傾きに沿って持ち上げてください。

転倒･落下防止

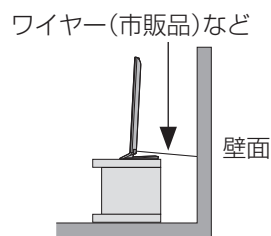
地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒･落下防止処置をしてください。

- 本欄の内容は、地震などでの転倒･落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
  付属品の転倒･落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

1 テレビ台に固定する

（1）ベルトを固定しているテープを外す。
（2）テレビ台やラックの取扱説明書の指示に従って取り付ける。

2 壁面に固定する

テレビ側の通し穴に、ワイヤー（市販品）などを通して固定する。

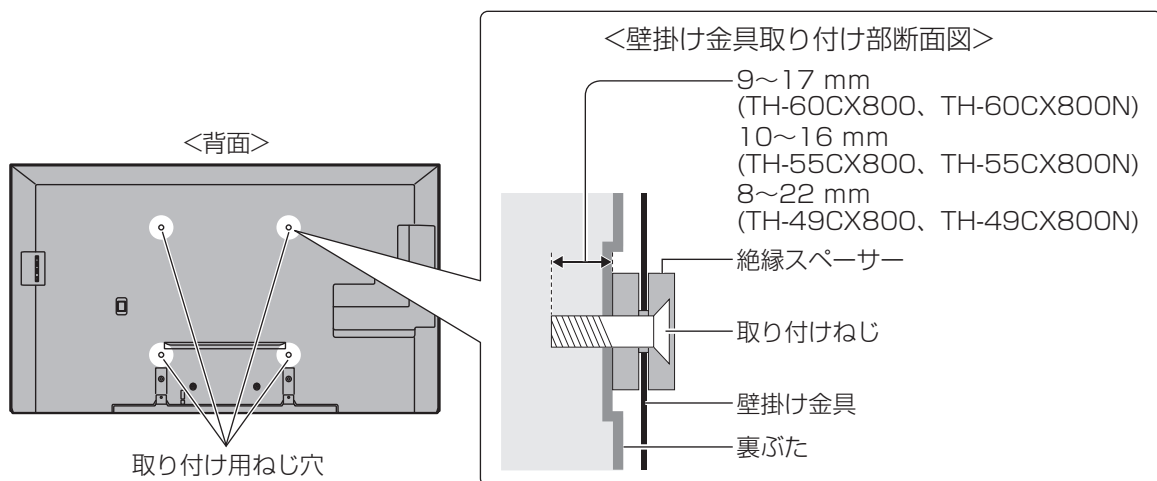
- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

壁掛け金具の設置（別売品）

別売の壁掛け金具を取り付けて設置することができます。本機を設置する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。また、本機専用の壁掛け金具を必ずご使用ください。

■ **壁掛け金具(2015年4月現在)**

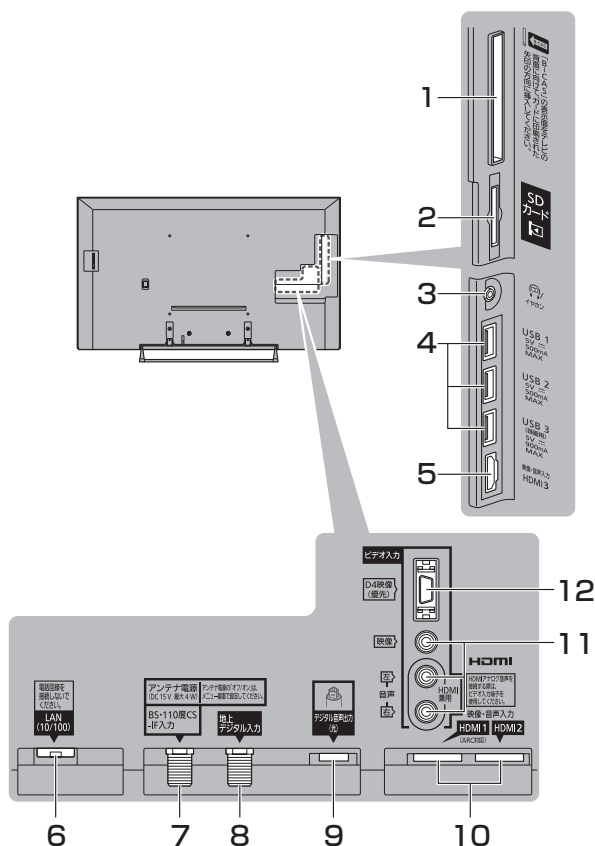
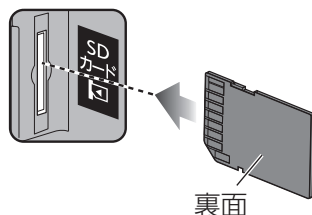
品番　TY-WK4L2R

■ **壁掛け設置について**

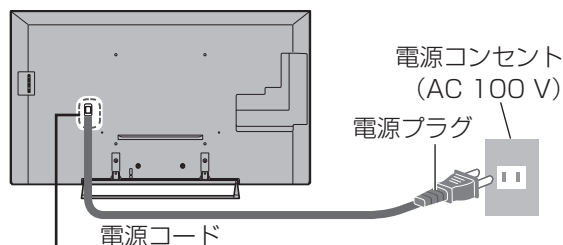
- 別売の壁掛け金具に付属している取り付けねじは、壁掛け金具の取り付け面からの長さが以下のように設定されています。
  壁掛け金具に付属の取り付けねじ以外は使用しないでください。
  TH-60CX800／TH-55CX800、TH-60CX800N／TH-55CX800N
  ･･･角度を0°(垂直)、下向き5°、10°に変更できます。
  TH-49CX800、TH-49CX800N ･･･角度を0°(垂直)、下向き5°、10°、15°に変更できます。
- 壁掛け金具の施工説明書もあわせてご覧ください。

お願い

- 壁掛け金具の取り付け工事は、性能･安全確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

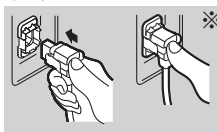
接続

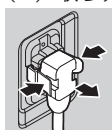
端子部について

1　B-CASカード挿入口 ➡ P. 18
2　SDメモリーカード挿入口
SDメモリーカードを入れるときは、ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込んでください。
取り出すときは、カードの底面の真ん中を押してください。

3　ヘッドホン／イヤホン端子
（ステレオ：M3プラグ）
4　USB 1～3端子 ➡ P. 23
5　HDMI 3端子 ➡ P. 19
6　LAN端子 ➡ P. 21～22
7　BS・CSアンテナ接続端子 ➡ P. 18
8　地上デジタルアンテナ接続端子 ➡ P. 18
9　デジタル音声出力(光)端子 ➡ P. 21
10 HDMI 1～2端子 ➡ P. 19
11 ビデオ入力(映像・音声)端子 ➡ P. 20
12 ビデオ入力(D4映像)端子 ➡ P. 20

電源コードの接続

- 必ず、付属の電源コードをご使用ください。
- 電源プラグは、すべての接続が完了してから電源コンセントに差し込んでください。

本体背面に、奥までしっかり差し込んでください。
- 電源コードを外すときは、必ず、電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

49V型　60V型/55V型

（1）取り付け方

※左右のつめがカチッと音がするまで、しっかり差し込む

（2）取り外し方

横のつまみを押しながら抜く

（お知らせ）
- 説明に出てくる外部機器やケーブルなどは、本機の付属品ではありません。
- ケーブルの先端部および機器の形によっては、背面や側面の端子に接続できないことがあります。

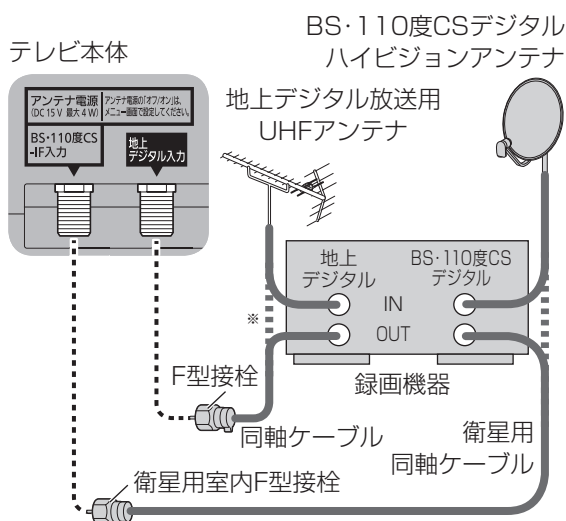
各機器の接続については、以下のホームページでも確認できます。
http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/

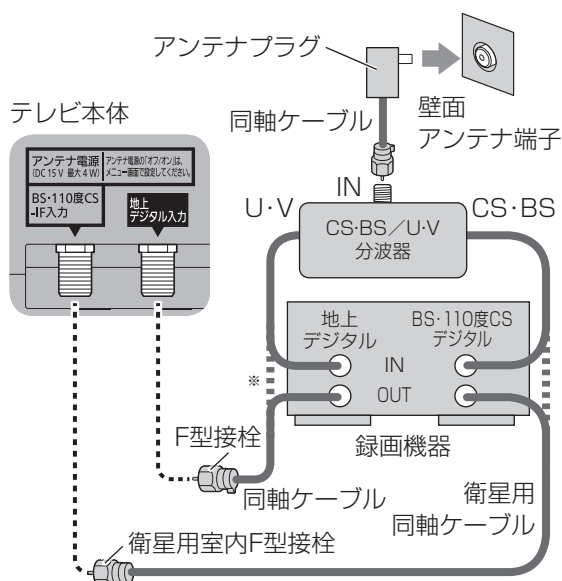
本機で動作確認済みの機器については、以下のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html

地上デジタル放送／衛星デジタル放送を受信する

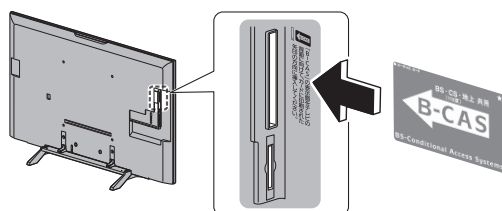
アンテナ端子の接続

- 接続図は一般的な例であり、接続方法によって新たにご準備いただくものは変わります。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■ **一戸建てなど、個別のアンテナで受信する**

※ 録画機器を中継しない場合は、▪▪▪▪のように直接本機に接続してください。

■ **マンションなど、共同のアンテナで受信する**

※ 録画機器を中継しない場合は、▪▪▪▪のように直接本機に接続してください。

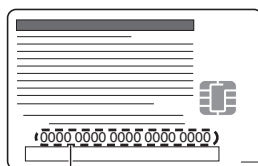
B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

- 本体の電源が切れていることを確認してから、B-CASカードを挿入してください（カードの向きに注意して止まるまで押し込む）。
- カード、台紙に記載の文面および「使用許諾契約約款」をよくお読みのうえ、必ず挿入してください。
  挿入しないとデジタル放送が映りません。

■ **B-CASカードを抜くとき**

- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

（1）本体の電源ボタンで電源を切る。
（2）B-CASカードを抜く。

B-CASカードについて

B-CASカード

カードID

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「カードID（B-CASカード番号）」記入欄にメモしておいてください。

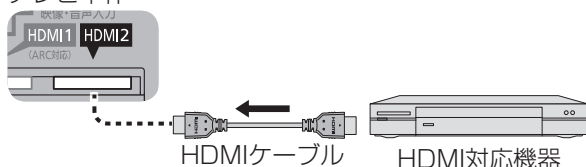
B-CASカードについてのお問い合わせ（故障交換や紛失時など）は
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

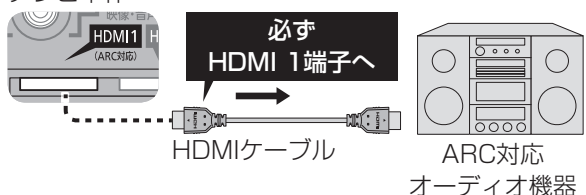
かんたん設置設定については
➡ P. 30～31
操作については
ビエラ操作ガイド **「テレビを見る」**

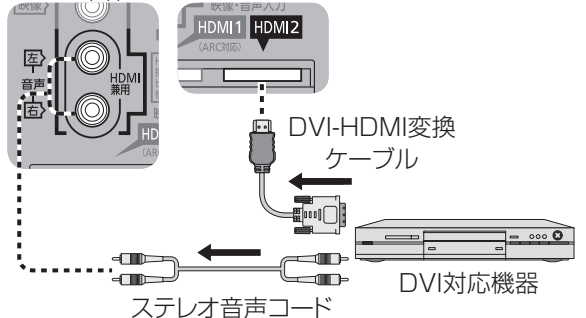
映像／オーディオ機器と接続する

HDMI端子の接続

HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

■ HDMI対応の再生機器を接続する

■ アンプなど、ARC(オーディオリターンチャンネル)対応のオーディオ機器を接続する

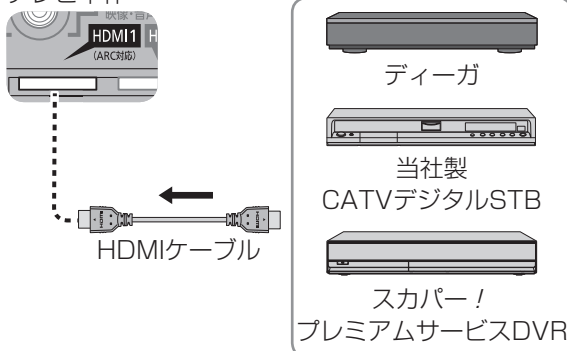
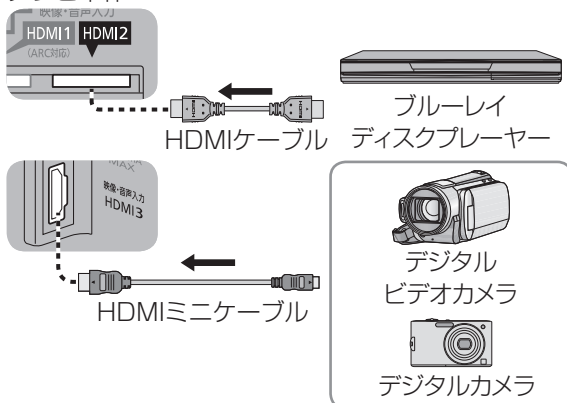
• ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、HDMI端子からデジタル音声信号を送る機能です。

■ DVI対応の再生機器を接続する

• DVI出力端子がある機器は、 変換ケーブルを使ってHDMI端子に接続することができます。その場合、ビデオ入力の音声入力端子にも音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」(メニュー→音声調整)で、接続したHDMI端子の項目を「アナログ」に設定してください。

HDMI端子の接続(ビエラリンク対応機器)

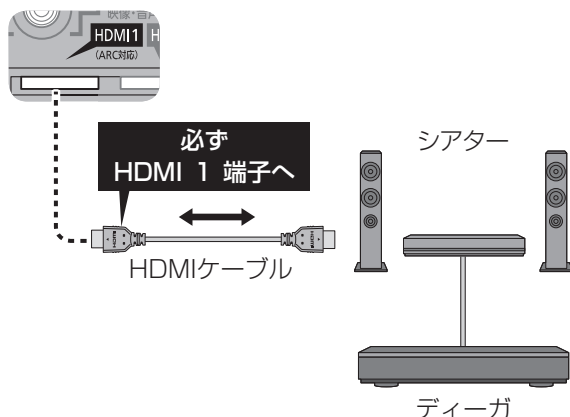
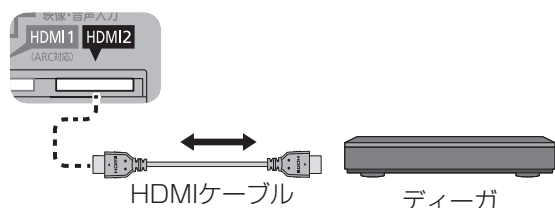
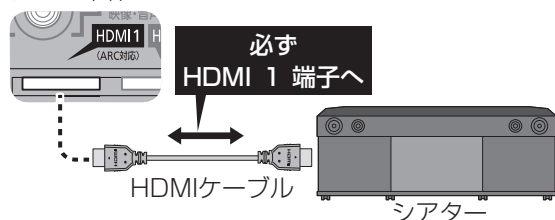
本機とビエラリンク対応機器をHDMIケーブルで接続すると、ビエラリンクをお楽しみいただくことができます。

- HDMIケーブルは、当社製を推奨します。
  HDMI規格に準拠していないケーブルでは、動作しません。
- 3D映像、4K映像を視聴するときは、HDMIロゴのある「High Speed HDMIケーブル」をお使いください。
- 同じ種類の機器を接続した場合、本機からビエラリンクで操作できるのは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器1台のみです。(例えば、2台のブルーレイディスクプレーヤーをHDMI 2とHDMI 3に接続すると、HDMI 2に接続したブルーレイディスクプレーヤーのみ、ビエラリンクで操作することができます。)

■ ビエラリンクで録画に使う機器を接続する (ディーガなど)

• 本機の番組表から録画予約できるのは、ディーガのみです。

■ ビエラリンクで再生のみに使う機器を接続する

設定や操作については
ビエラ操作ガイド 「テレビを見る」
「いろいろな機能」

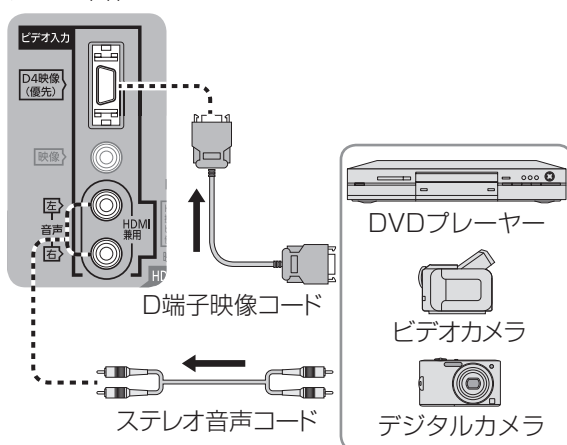
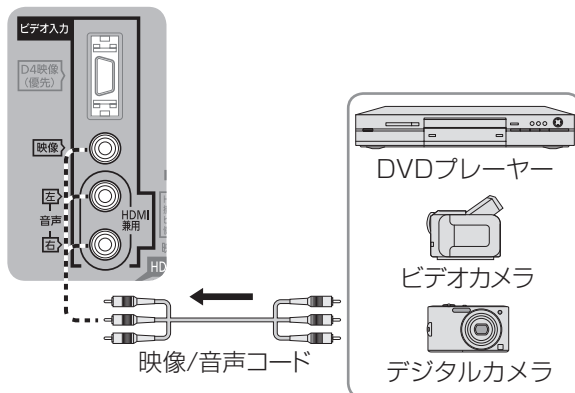
■ ビエラリンクで操作するシアター機器を接続する

- シアターは、ラックシアターやサウンドセットなど当社製機器の総称です。
- この接続はARC（オーディオリターンチャンネル）対応のシアターの例です。
  ARC非対応のシアターの場合は、別途光デジタルケーブルでの接続が必要です。
- シアターは、本機とディーガの間に接続します。

4K映像や3D映像に対応しているディーガを接続するときは、シアターのHDMI端子が4K映像信号や3D映像信号に対応していることをご確認ください。
シアターのHDMI端子が対応していない場合、4K映像や3D映像を見るには、ディーガを本機のHDMI端子に直接接続してください。

ビデオ入力端子の接続

DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

● 接続する機器によっては、専用ケーブルが必要な場合があります。

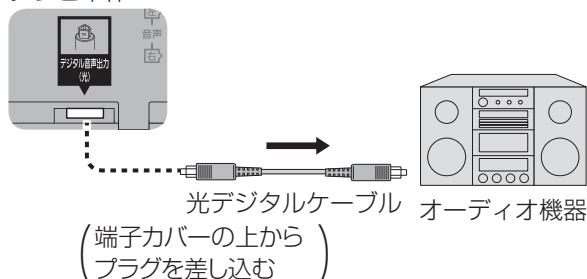
■ D4映像端子に接続する

- 「映像」端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
  「D4映像」端子に接続するとき、音声もお楽しみいただくには、ビデオ入力の音声端子にも音声コードを接続してください。
- DVDプレーヤーなどのD1～D4映像出力のいずれかの端子と接続してください。
- ビデオデッキなどの「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コードで接続できます。
- 「D4映像」端子と「映像」端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。

■ 映像端子に接続する

光デジタル音声出力端子の接続

デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に接続します。

● ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」(メニュー→音声調整)の設定が必要です。

■ アンプなど、光デジタル音声入力対応機器を接続する

設定や操作については
ビエラ操作ガイド「テレビを見る」

ネットワーク/ネットワーク機器と接続する

本機とネットワークの接続

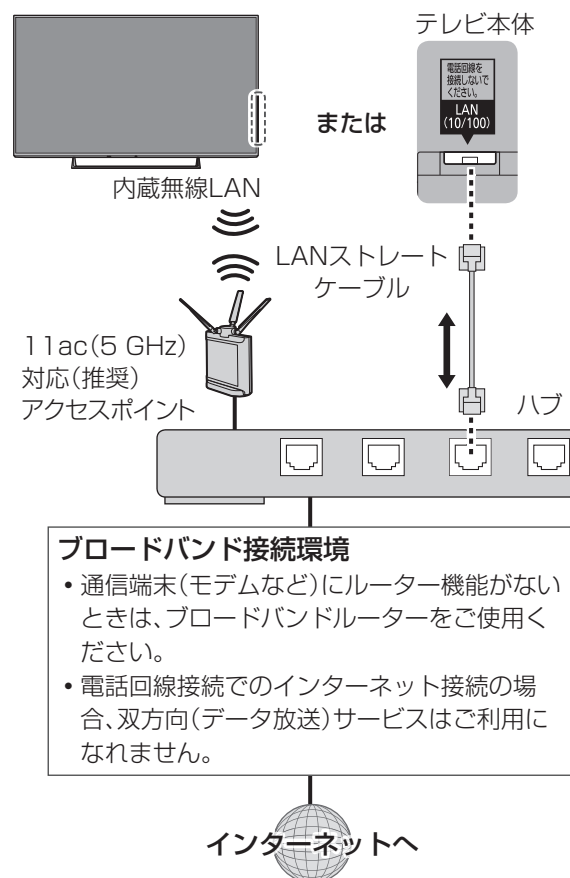
すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、下記の接続を行ってください。

● 初めて本機を使用するときは、かんたん設置設定でネットワーク接続の設定を行います。

■ インターネット、ホームネットワークに接続する

• LAN端子/無線LANどちらでも接続できます

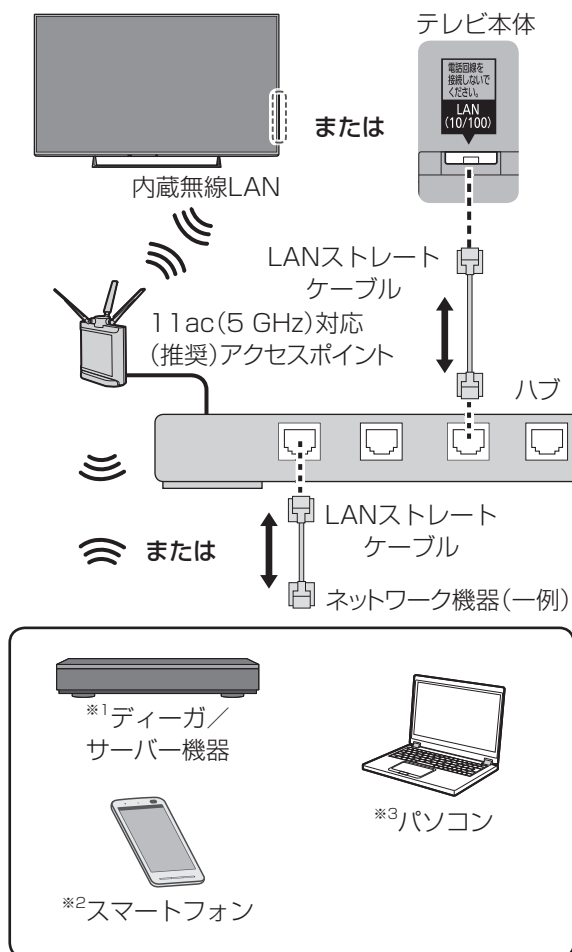
ブロードバンド接続環境

• 通信端末(モデムなど)にルーター機能がないときは、ブロードバンドルーターをご使用ください。
• 電話回線接続でのインターネット接続の場合、双方向(データ放送)サービスはご利用になれません。

設定や操作については
ビエラ操作ガイド「ネットワーク」

本機とネットワーク機器の接続

ネットワーク機器を接続すると、お部屋ジャンプリンクやメディアアクセス、TVリモート、ファイル共有、ダビングなどのネットワーク機能が使えます。
本機にハブまたはブロードバンドルーターを接続し、各ネットワーク機器を接続してください。

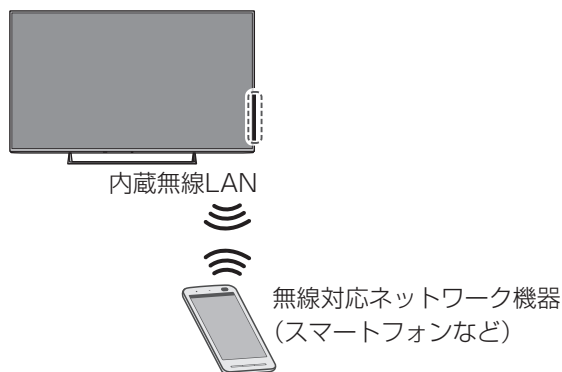
- 接続については、ネットワーク機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

■ ネットワーク機器にハブ、またはアクセスポイント経由で接続する

※1 お部屋ジャンプリンクを使用するときの機器です。お部屋ジャンプリンクの詳細については以下のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/jumplink/

※2 メディアアクセスやTVリモートを使用するときの機器です。
メディアアクセスの詳細については以下のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/support/av/m_access/
TVリモートの詳細については以下のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/support/tv/
を開く
テレビお客様サポートの「アプリ情報」→「TV　Remote」を選ぶ

※3 ファイル共有機能を使用するときの機器です。
ファイル共有機能の詳細については以下のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/support/tv/network/netfs/

■ ネットワーク機器にダイレクトで接続する

- TVリモートなどが使用できます。

設定や操作については
ビエラ操作ガイド「ネットワーク」

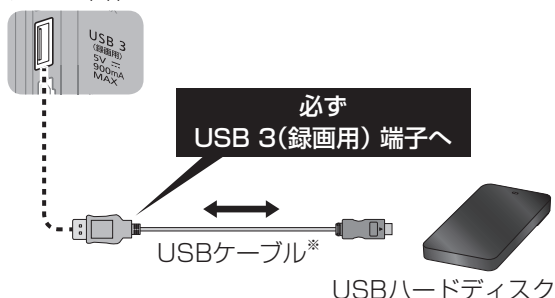
USB機器と接続する

USB端子の接続

USB機器を接続し、コンテンツ再生や番組録画などができます。

- USBハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。

■ 番組録画用USBハードディスクを接続する

- USBハブを使って複数のUSBハードディスクを同時に接続することはできません。
（本機に登録できるUSBハードディスクは8台ですが、一度に使用できるUSBハードディスクは1台です。）

※ スーパースピードUSB（USB3.0）対応のUSBハードディスクを接続するときは、スーパースピードUSB（USB3.0）対応のUSBケーブルをご使用ください。

本機でお使いいただく録画用USBハードディスクは、本機専用として使用してください。（本機で登録した後に他の機器で使用するには、再フォーマットが必要になり、データがすべて消えてしまいます。）
ただし、お使いのUSBハードディスクがSeeQVault（シーキューボルト）対応の場合、SeeQVaultに対応した本機以外のビエラでも、本機で録画した番組を視聴することができます。

- SeeQVaultとは、コンテンツ保護技術の規格で、本機はSeeQVaultに対応しています。
- SeeQVault対応USBハードディスクの情報については、本機で動作確認済みの機器をご確認ください。
➡ P. 17

■ メディアプレーヤーで再生するUSB機器を接続する

設定や操作については

「録画する」
「メディアプレーヤー」

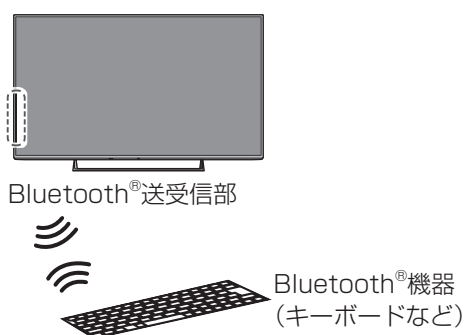
Bluetooth®機器と接続する

本機はBluetooth®通信に対応しています。Bluetooth®機器をペアリング（登録）すると、本機と接続（通信）できます。

- 本機に対応していないBluetooth®機器は、ペアリングできません。
- 音声タッチパッドリモコンは、ビエラ専用のBluetooth®機器のため、ペアリングの方法が異なります。
  音声タッチパッドリモコンのペアリング方法

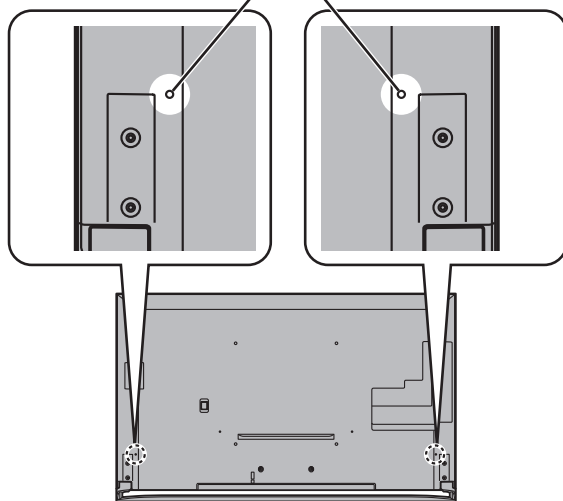
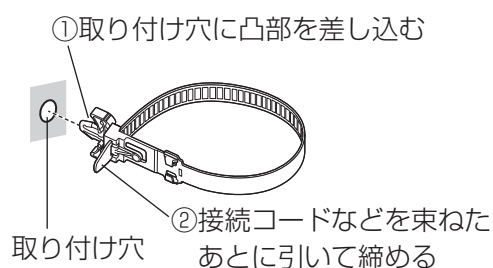
  P. 29

Bluetooth®送受信部

Bluetooth®機器
（キーボードなど）

クランパーを使ってケーブルを固定する

TH-60CX800N／TH-55CX800N／TH-49CX800N

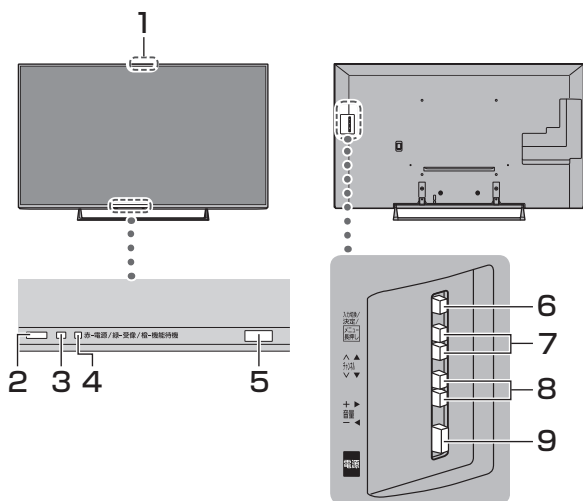
付属のクランパーは、必要に応じてケーブル類の固定に使用してください。

- 電源コードはその他のケーブル類と一緒に束ねないでください。

お知らせ

- 本機にペアリング（登録）したBluetooth®対応機器を、他の機器とペアリング（登録）して使用すると、本機で使用できなくなることがあります。この場合は、再度、本機にペアリング（登録）してください。
- 本機はスピーカーなどのオーディオ機器には対応していません。

設定や操作については
ビエラ操作ガイド「いろいろな機能」

各部の名称と働き

テレビ本体

1 **マイク部**
テレビの上部には、内蔵マイクがあります。

2 **リモコン受信部**

メインリモコンは、この部分に向けて操作してください。
音声タッチパッドリモコンの場合、電源ボタンを使うときはこの部分に向けて操作してください。

3 **明るさセンサー**
「明るさオート」に対応して、映像を調節するための受光部です。

4 **電源ランプ**
電源「入」時は、緑色点灯します。
（テレビ起動中は点滅）
リモコンで電源「切」時は、赤色点灯します。
ただし、機能待機中※は橙色点灯します。
本体で電源「切」時は、消灯します。
- 電源ランプ点灯中にリモコン操作すると、点滅します。

※録画中、ダビング中、データ取得時など

5 **人感センサー**
「ダイレクト音声操作」（メニュー→機器設定→音声操作の設定）を「オン」に設定したとき、人を感知するとダイレクト音声操作が使用できます。

6 **入力切換ボタン**
放送を切り換えます／外部入力にします。
メニューボタン
長押しすると、メニュー画面が表示されます。
決定ボタン（メニュー操作時）

7 **チャンネルボタン**
チャンネルを順送りで選びます。
上下カーソルボタン（メニュー操作時）

8 **音量ボタン**
音量を調整します。
左右カーソルボタン（メニュー操作時）

9 **電源「入」「切」ボタン**
「入」で電源ランプが緑色点灯し、リモコン操作が可能になります。

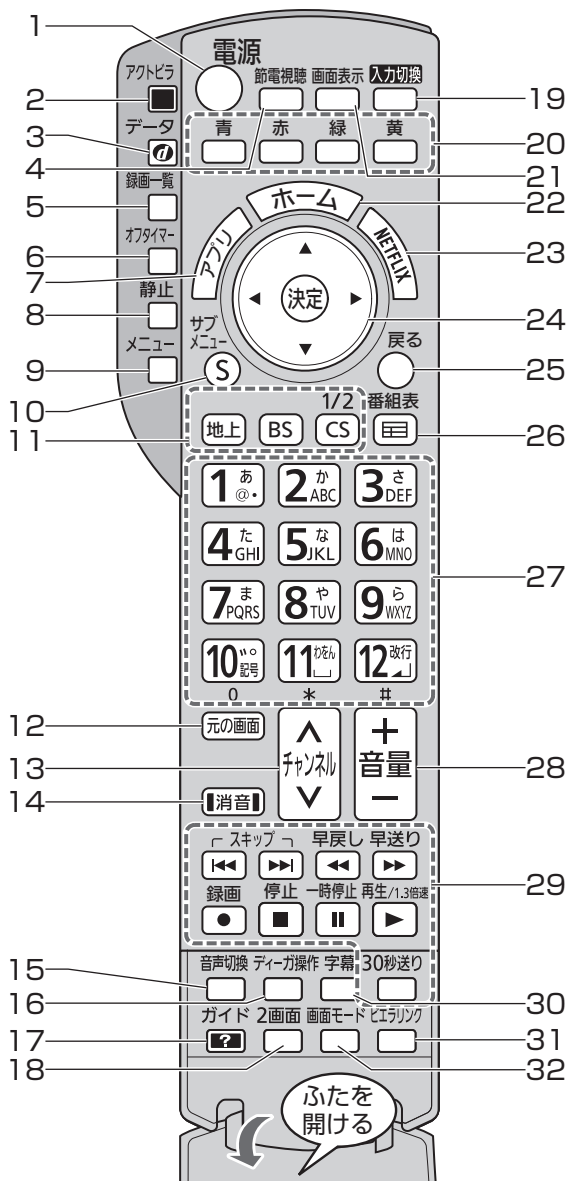
お願い

- 明るさセンサーやリモコン受信部、人感センサーの前にものなどを置かないでください。
- リモコン受信部や人感センサーに、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

お知らせ

- 6、7、8のボタンを押すと、画面右端に操作ボタンのガイドが約３秒表示されます。（操作中のボタンが黄色で表示されます。）
- 電源「切」時の場合も、一部の回路は通電しています。
- 本体とリモコンのリモコンモードが違っていると、リモコンの電源ボタンを押しても、電源ランプは点滅しますが電源の「入」「切」はできません。リモコンモードを変更してください。 ➡ P. 27

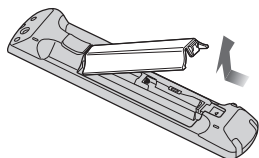
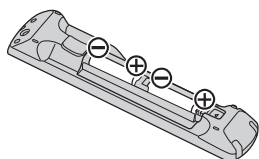
設定や操作については
「いろいろな機能」

メインリモコン

1 テレビ本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
2 アクトビラの画面を表示する
3 データ放送/ハイブリッドキャストを表示する
4 画面の明るさで消費電力を調整する
5 録画一覧を表示する
6 自動的に電源を切りたいときに設定する（押して時間を選ぶ）
7 アプリの一覧を表示する
8 テレビ視聴中に画面を静止させる（もう一度押すと解除）
9 メニュー画面を表示する／音声ガイドを設定する
10 サブメニューを表示する
11 放送を切り換える（放送切換ボタン）
 • 見ない放送のボタンを使えないようにできます。（BS･CSのみ）
12 テレビ画面に戻る
13 チャンネルを順送りで選ぶ
14 音を一時的に消す（もう一度押すと解除）
15 2か国語などを切り換える
16 ディーガ操作一覧を表示する
17 ビエラ操作ガイドを表示する ➡ P. 33
18 2画面で探す/2画面で見る
19 外部入力に切り換える（ディーガ･DVDなど）
20 画面の指示に従って使う（カラーボタン）
21 番組のタイトルなどを表示する
22 ホーム画面を表示する
23 インターネットにつなぐと、NETFLIXのサービスが利用できる（2015年秋以降サービス開始予定）
24 画面上で選ぶ／決定する

25 1つ前の画面に戻る
26 番組表※を見る
27 チャンネルを直接選ぶ ➡ P. 32
 文字を入力する ➡ P. 34
28 音量を調整する（画面下に音量を表示）
29 ディーガやUSBハードディスクなどの外部機器を操作する
30 字幕の「オン」「オフ」を切り換える
31 接続したビエラリンク対応機器に応じたメニューを表示する
32 画面モードを切り換える

※本機の番組表はGガイドを使用しています。

電池の挿入

1 電池のふたを開ける。

2 単3形乾電池(付属品)を⊖側から入れ、電池のふたを閉める。

リモコンモードの設定

本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが動作してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、リモコンモードを変更してください。

● 音声タッチパッドリモコンも、合わせて設定できます。設定する場合は、事前に音声タッチパッドリモコンと本機をペアリング（➡ P.29）した上で、リモコンモードを設定してください。音声タッチパッドリモコンは、電源ボタンの操作のみ、リモコンモードの設定が働きます。(その他の操作は、リモコンモードの設定を変更しても影響ありません。)

(1) テレビ本体のリモコンモードを、「受信リモコンモード設定」(メニュー→機器設定→設置設定→リモコン設定)で設定する。

(2) リモコンのモードを、(1)の設定と同じになるように切り換える。
- リモコンモード１に設定するには
  消音 決定 1あ@. を同時に３秒以上押す
- リモコンモード2に設定するには
  消音 決定 2かABC を同時に３秒以上押す

(3) テレビ本体のリモコン受信部に向けて 決定 を押す。

■ 受信リモコンモードを初期設定(リモコンモード1)にリセットする

リモコンモード２の設定でお使いのとき、以下の手順で、テレビ本体の受信リモコンモードを初期設定(リモコンモード１)に変更することができます。

リモコンを紛失したときなどにご活用ください。

① リモコンモード1に設定された、別のパナソニック製テレビのリモコンを用意する。

② 用意したリモコンをテレビ本体に向け、消音ボタンを約５秒間押す。

③ リモコンモード強制リセットの確認画面が表示されたら、再度、消音ボタンを約３秒間押す。

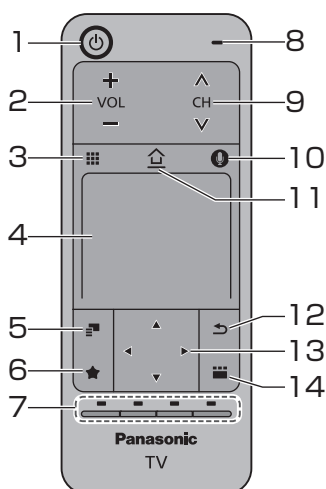
お願い

● テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください。 ➡ P. 25
● テレビ本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
● 故障の原因になりますので、リモコンを落とさないように、また、水などの液体をかけないようにご注意ください。
● 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

音声タッチパッドリモコン

音声タッチパッドリモコンで音声操作機能を使って本機の操作をしたり、インターネットなどの画面操作が簡単にできます。送受信にBluetooth®無線技術を使っています。

● 電源を「入」「切」するときは、テレビ本体のリモコン受信部に向けてください。テレビ本体のリモコン受信部と音声タッチパッドリモコンの間に障害物があると電源の「入」「切」ができないことがあります。

初めてお使いになる前に、音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）してください。 ➡ P.29

1　**電源ボタン**
- テレビ本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する

テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください ➡ P.25

2　**音量ボタン**
- 音量を調整する（画面下に音量を表示）

3　**画面リモコンボタン**
- メインリモコンと同様の操作ができるようにアイコンを表示する

4　**タッチパッド**
タッチパッドの操作については「タッチパッド操作ガイド」（メニュー→機器設定→タッチパッドリモコン設定）をご覧ください。

5　**サブメニューボタン**
- サブメニューを表示する

6　**ホームに登録**
- ホームにショートカットを作成する

7　**カラーボタン**
- 画面の指示に従って使う

8　**マイク**
音声タッチパッドリモコンのマイクを使って、発話した言葉を認識し、以下のような操作をすることができます。
- チャンネルや音量を操作する
- インターネットに接続して検索するなど

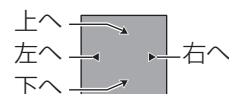
9　**チャンネルボタン**
- チャンネルを順送りで選ぶ

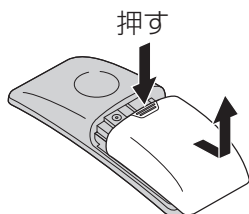
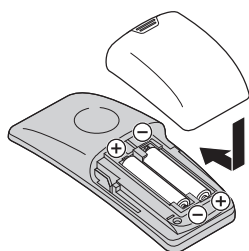
10　**音声操作ボタン**
- 音声操作機能を使う

11　**ホームボタン**
- ホーム画面を表示する

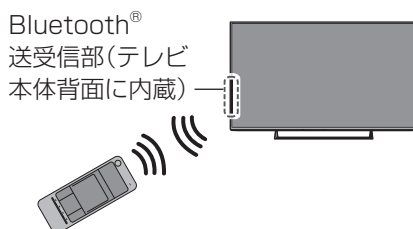
12　**戻るボタン**
- 1つ前の画面に戻る

13　**カーソルボタン**
- 画面上で選ぶ

14　**アプリボタン**
- アプリの一覧を表示する

電池の挿入

1 **電池のふたを押しながら、矢印方向にスライドさせて電池のふたを取り外す**

2 **単4形乾電池（付属品）を⊖側から入れ、電池のふたをかぶせ、矢印方向にスライドさせて閉める**

ペアリング（登録）する

音声タッチパッドリモコンは、電池を入れた後、電源ボタン以外で操作をすると、自動的にペアリング（登録）が始まります。
画面の指示に従ってペアリング（登録）してください。

- ペアリング（登録）は、テレビ本体から約50 cm以内に近づけて行ってください。

■ 再度、ペアリング（登録）する

ペアリング（登録）がうまくできないときは、テレビ本体のBluetooth®送受信部に近づけてから、再度、ペアリング（登録）をしてください。

（1）メインリモコンで「タッチパッドリモコン設定」（メニュー→機器設定）を選ぶ。
（2）「登録」を選ぶ。
　　登録画面が表示されるので、画面の指示に従ってペアリング（登録）してください。

音声タッチパッドリモコンの詳細については
ビエラ操作ガイド「いろいろな機能」

お願い

- 故障の原因になりますので、リモコンを落とさないように、また、水などの液体をかけないようにご注意ください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 音声タッチパッドリモコンは卓上用ではありませんので、置いて使用しないでください。
- 音声タッチパッドリモコンは、操作をしなくても、タッチパッド部分に触れていると電池が消耗しますのでご注意ください。

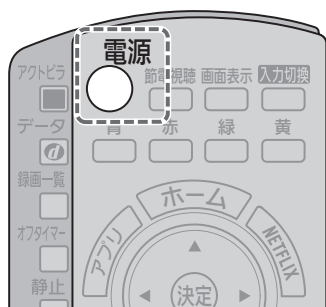
お知らせ

- 音声タッチパッドリモコンは、本機専用のリモコンです。
- 本機にペアリング（登録）できる音声タッチパッドリモコンは1つだけです。
- 音声タッチパッドリモコンを使用できる距離は、使用環境によって異なります。
- 音声タッチパッドリモコンの電池残量が少ないときなど、正しくペアリング（登録）できないことがあります。

かんたん設置設定

ご購入後、初めて本機の電源を入れると、「かんたん設置設定」画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

- 外部機器と接続する場合は、「かんたん設置設定」を実施する前に、接続を済ませてください。
  ➡ P. 17

電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源ボタンで本機の電源を入れる

• 画面の指示に従って、リモコンで操作してください。

かんたん設置設定をやり直す

引越しなどテレビ放送の受信地区が変わったときや、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直すことができます。

- 各設定内容は、メニュー画面から個別に変更することもできます。

(1) メニュー を押す。

(2)「機器設定」を選び、決定 を押す。

(3)「かんたん設置設定」を選び、決定 を押す。
画面の指示に従って操作してください。

■ お買い上げ時の状態からやり直す

(1)「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力する。

(2) 本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

受信チャンネルを再設定する

テレビ放送をスキャンし直してチャンネル設定を変更したり、新しく開局した放送局を追加したり、チャンネルをお好みで設定し直すことができます。

(1) メニュー を押す。

(2)「機器設定」を選び、決定 を押す。

(3)「設置設定」を選び、決定 を押す。

(4)「チャンネル設定」を選び、決定 を押す。

(5) 再設定する放送を選び、決定 を押す。
以降は、画面の説明を確認しながら設定してください。

■ 地上デジタル放送の設定方法について

初期スキャン	受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。
再スキャン	地上デジタル放送の受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。
マニュアル	地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→ 品番選択の「TH-○○○○」→ 取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

チャンネル設定の詳細については
ビエラ操作ガイド「いろいろな機能」

受信レベルを確認する

個別のアンテナで受信しているとき、アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとの受信レベル（受信する電波の質）を確認することができます。

● 受信レベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。また、受信レベルは、天候、季節、地域、チャンネル、アンテナシステムの条件などにより変動することがありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

（1）メニュー を押す。

（2）「機器設定」を選び、決定 を押す。

（3）「設置設定」を選び、決定 を押す。

（4）「受信設定」を選び、決定 を押す。

（5）設定する放送を選び、決定 を押す。

■ 地上（地上デジタル放送）

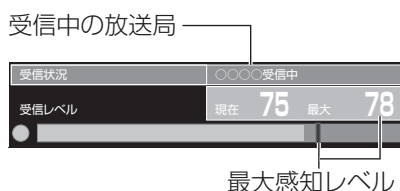
• アッテネーターを設定したり、受信レベルが最大になるように調整します。

①「物理チャンネル選択」で、調整する物理チャンネルを選ぶ。
地上デジタル放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

②必要であれば「アッテネーター」を設定する。
放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。

③受信レベルを確認し、必要であればアンテナの向きを調整する。

受信中の放送局

最大感知レベル

現在のアンテナ入力レベル
（受信の目安は44以上）

■ 衛星（衛星デジタル放送）

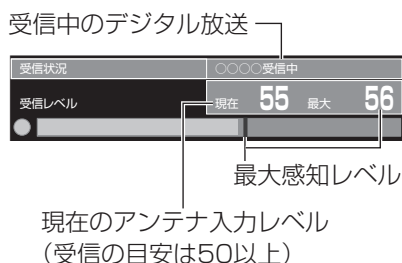
• アンテナ電源の「オン」「オフ」を設定したり、受信レベルが最大になるように調整します。

①「アンテナ電源」を設定する。
個別の衛星アンテナで受信しているときなど、本機から衛星アンテナのコンバーターに電源を供給する必要があるときは、「オン」に設定します。
ブースターなどからコンバーターに電源を供給しているときは、「オフ」に設定します。

②受信レベルを確認し、必要であればアンテナの向きを調整する。

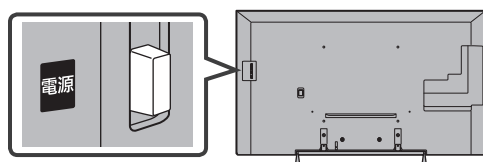
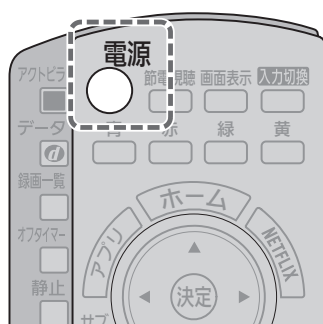
受信中のデジタル放送

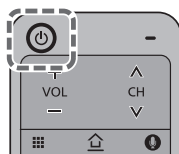
最大感知レベル

現在のアンテナ入力レベル
（受信の目安は50以上）

受信設定の詳細については
ビエラ操作ガイド「いろいろな機能」

テレビを使う

電源を入れる

または

テレビ本体の電源が「入」のとき
（電源ランプが赤色、または橙色点灯中）

または

テレビ本体の電源が「入」のとき
（電源ランプが赤色、または橙色点灯中）

テレビ放送を見る

電源を入れると、数秒間テレビ画面の端にインフォメーションバーが表示されます。

1 放送の種類を選ぶ

地上　BS　1/2 CS

2 チャンネルを選ぶ

または

3 音量を調整する

＋
音量
－

■ 番組表から番組を選んで見るには

（1）テレビを視聴中に 番組表 を押す。

（2）放送の種類（地上 BS 1/2 CS）を選ぶ。

（3）番組を選び、決定 を押す。

（4）「今すぐ見る」または「見るだけ予約」を選び、決定 を押す。

- 今すぐ見る：
  放送中の番組を選んだときに表示されます。選んだ番組に切り換わります。
- 見るだけ予約：
  放送予定の番組を選んだときに表示されます。テレビ放送を視聴中に放送時刻になると、選んだ番組に切り換わります。

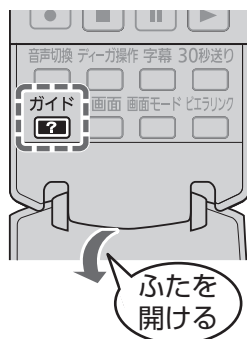
今すぐ見る

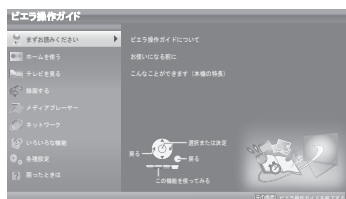
3D映像、インフォメーションバー、録画・再生の設定や操作については

ビエラ操作ガイド 「テレビを見る」、「いろいろな機能」「録画する」「メディアプレーヤー」

ビエラ操作ガイドの使い方

ビエラ操作ガイドとは、テレビに内蔵の電子説明書です。本機の画面上で、設定や操作、解説などの情報を見ることができます。

1 ガイド［?］を押してビエラ操作ガイドを表示する

「前回表示していた説明ページへ戻る」または「トップページを表示する」の選択画面が表示されたときは、どちらかを選んでください。

2 項目を選ぶ

■ 操作画面に直接切り換える

ビエラ操作ガイドに「この機能を使ってみる」が表示されている場合は、実際の操作画面に、直接切り換えることができます。

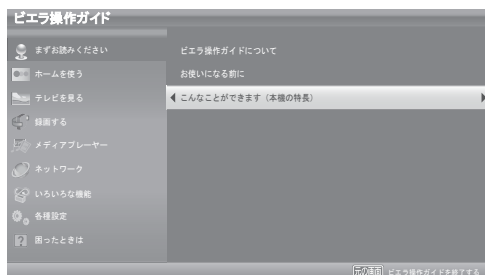
［赤］を押す。

■ ビエラ操作ガイドを終了する

［元の画面］を押す。

「こんなことができます（本機の特長）」について

本機の特長や主な機能の紹介を確認することができます。

（1）ビエラ操作ガイドの「まずお読みください」→「こんなことができます（本機の特長）」を選ぶ。

文字入力について

文字入力には、画面キーボード方式とリモコンボタン方式があります。
画面によって入力方式が異なります。

画面キーボード方式

画面上にキーボードを表示して▲▼◀▶で文字や項目を選び、入力します。

● キーボードを消すときは、戻る◯を押す。

■ 文字入力のしかた

例)「映画」と入力するとき

(1) 青 を押して入力文字を切り換える

● 押すたびにキーボードが切り換わります。

かな → カナ → 英数 → 記号 → かな

(2) ▲▼◀▶でキーボードから文字を選び、決定 を押す

(3) 赤 を押して、▲で変換候補の文字が表示されている箇所へ移動し、◀▶で変換したい文字を選び、決定 を押す

● 変換しないときは 黄 を押す。

◀ 映画 栄華 英が

● 赤 を押さずに、変換候補の文字が表示されている箇所から、直接変換したい文字を選ぶこともできます。

(4) 黄 を押して終了する

キーボードの表示が消えます。

● 文節を分けて変換するとき

変換候補の文字が表示されているときに画面キーボードの ← → で文節を切り換える。

● 全角の記号を入力するとき

「きごう」と入力して▲で変換候補の文字が表示されている箇所へ移動し、◀▶で記号を選び決定を押す。

● 文字を削除するとき

削除する文字の右側に画面キーボードの ← → でカーソルを移動させて、緑 を押す。

■ 言語切り換えのしかた

(1) 画面キーボードの 🔧 を選び、決定 を押す

(2) ▲▼で言語を選び、決定 を押す

お知らせ

● 画面キーボードのレイアウトは予告なく変更する場合があります。

リモコンボタン方式

リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

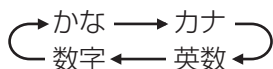
- 文字入力一覧表（☞右記）

■ 文字入力のしかた

例）「映画」と入力するとき

（1）［緑］を押して入力文字を切り換える

- 押すたびに切り換わります。

かな → カナ → 英数 → 数字 → かな

（2）「かな」を選び、（決定）を押す

（3）入力画面で「えいが」と入力

- 次のように入力します。

「え」：［1 あ @.］（4回）
▶
「い」：［1 あ @.］（2回）
「が」：［2 か ABC］（1回）
→［10 ゛゜ 記号 0］（1回）

えいが

- 同じボタンの文字を続けて入力するには、▶でカーソルを右へ移動させる。

（4）▲▼で漢字を選び、（決定）を押す

カーソル
映画

（5）（決定）を押して確定する

● 文節を分けて変換するとき

▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。

えいが

● 記号を入力するとき

「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、（決定）を押す。

● 全角の英数字を入力するとき

英数モード（半角）で入力し、▲▼で変換する。

● 文字を追加するとき

追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

● 文字を削除するとき

削除する文字に◀▶でカーソルを移動させて、［黄］を押す。

リモコンボタン方式での文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1 あ @.	あいうえお ぁぃぅぇぉ1	アイウエオ ァィゥェォ1	@ . / : ˜ _ # $ % * + = ^ ` 1	1
2 か ABC	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3 さ DEF	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4 た GHI	たちつてとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5 な JKL	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6 は MNO	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7 ま PQRS	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
10 ゛゜ 記号 0	、。？！・（ ）0	、。？！・（ ）0	ー , ; ’ ” ? ! & ¥ | ( ) < > [ ] { } 0	0
11 わをん ␣ *	わをんゎー スペース	ワヲンヮー スペース	スペース	*
12 改行 #	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
（例：「い」を入力するときは［1 あ @.］を2回押す）
未確定の文字があるときに［12 改行 #］を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて［10 ゛゜ 記号 0］を押す。

「パナソニックスマートアプリ」について

「パナソニックスマートアプリ」とはパナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

- 本機とスマートフォンをご自宅の無線LANアクセスポイントにつないで、ご愛用者登録を行うことができます。
- 本機を操作できるTVリモートなどのアプリを一括で管理できます。
- お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます。

「パナソニックスマートアプリ」のダウンロード方法や使いかたはこちら
http://panasonic.jp/pss/ap/

お知らせ

- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用には、パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応OSやサポート機種は上記サイトでご確認いただけます。

商標などについて

- マーク、およびアクトビラ「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDAVI Control™は、商標です。
- RealD 3Dは、RealD社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD progressive”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
  - ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com)を参照ください。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。
  当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn”©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
  Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2015
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Firefox® OSはMozilla Foundationの登録商標です。
- デジタルアーツ／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークはBluetooth SIG, Inc.の商標で、パナソニックはライセンスに基づき使用しています。
- Speech Recognition Powered by Dragon 2002-2015 Nuance Communications, Inc. All rights reserved.
- Android、アンドロイドは、Google Inc.の商標です。

商標などについて（続き）

- "PlayReady" is a trademark registered by Microsoft. Please be aware of the following.
  (a) This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
  (b) Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies.
  Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content.
  If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
（1）パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
（2）第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
（3）Mozillaから提供されたFirefox OS
（4）GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1（LGPL V2.1）に基づきライセンスされたソフトウェア
（5）LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記（3）については「メニュー→ヘルプ→Firefox OSについて」のメニューをご参照ください。

上記（4）と（5）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細については、本製品の「メニュー→機器設定→システム設定→ライセンス情報→ソフト情報表示」に記載の所定の条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対して、実費にて、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口：cdrequest@unipf.jp

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://www.unipf.jp/dl/JPDTV15/

This product incorporates the following software:

(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) Firefox OS is powered by Mozilla,
(4) the software licensed under the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL V2.1), and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the LGPL V2.1.

About the software categorized as (3), please refer to the "メニュー→ヘルプ→Firefox OSについて" menu on this product.

The software categorized as (4) and (5) are distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the "メニュー→機器設定→システム設定→ライセンス情報→ソフト情報表示" menu on this product.

At least three (3) years from delivery of this product, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under LGPL V2.1 or the other licenses with the obligation to do so, as well as the respective copyright notice thereof.
Contact Information : cdrequest@unipf.jp

The source code and the copyright notice are also available for free in our website below.
http://www.unipf.jp/dl/JPDTV15/

故障かな!?

ビエラ操作ガイドの「困ったときは」もあわせてご覧ください。

● 映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった

万が一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

● 電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ➡ P. 17
- 電源コードが本体から抜けていませんか？ ➡ P. 17
- リモコンの場合は、本体の電源が「入」になっていますか？ ➡ P. 25
- リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作していますか？ ➡ P. 25
- リモコンモードが違っていませんか？ ➡ P. 27

● リモコンを操作していないときに電源ランプが点滅する

- 本体の電源を「入」にすると、テレビ起動中、電源ランプは緑色点滅します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

上記の操作で直らないときは、故障の可能性があります。お買い上げの販売店または46ページの連絡先にご相談ください。

● リモコンで操作できない

- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ➡ P. 27、29
- リモコン受信部に向けて操作していますか？ ➡ P. 25
- リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？ ➡ P. 25
- 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
  本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。 ➡ P. 25
- リモコンモードが違っていませんか？ ➡ P. 27
- 音声タッチパッドリモコンの場合は、テレビ本体に音声タッチパッドリモコンをペアリング（登録）していますか？ ➡ P. 29

デジタル放送からのダウンロードにより、本機のソフトウェアを常に最新の状態にしてください。**テレビの視聴後は、リモコンで電源を「切」にすることにより、ダウンロードが可能になります。**リモコンで電源「切」の間に、最新のソフトウェアが自動受信されます。

その他、詳細な内容については

ビエラ操作ガイド **「困ったときは」**

取り扱いについて

お手入れについて

■ **キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布(綿・ネル地・クリーニングクロスなど)で軽くふき取ってください。**

- 化学ぞうきんは使用しないでください。
  含まれている成分によっては、キャビネットや液晶パネルの表面が変質したり、ひび割れなどの原因になることがあります。
- 市販のクリーニングクロス(テレビ用)をご使用の際、下に記載したものは使用しないでください。
  ひび割れなどの原因になることがあります。
  ※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■ **スプレー洗剤などは直接かけないでください。**

水などの液体が内部に入ると、故障の原因になります。

キャビネットについて

■ **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。**

- また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。

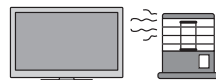
液晶パネルについて

■ **液晶パネル表面は特殊な加工をしています。**

- かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

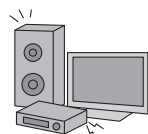
設置するとき

■ **直射日光を避け、熱器具から離す**

- キャビネットの変形や故障の原因になります。

■ **本機を設置するとき**

- 必ず2人以上で行ってください。
- スタンドの取り付けは、安全に作業するために、指定の手順以外では行わないでください。
  ➡ P. 12～15
  液晶パネル内部の破損の原因となります。

■ **機器相互の干渉に注意する**

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。

■ **接続は電源を"切"にしてから行う**

- 各機器の説明書に従って、接続してください。
  (オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器、オーディオアンプなど)

■ **本機を移動するとき**

- 必ず2人以上で運んでください。
  液晶パネル面を上または下にしての移動は液晶パネル内部の破損の原因となります。

■ **アンテナは定期的に点検を行う**

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
  映りが悪くなったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ **良好な画面で見るために**

- アンテナ線は、同軸ケーブルをご使用ください。

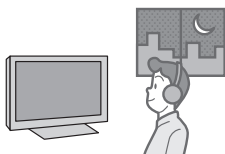
■ **包装箱に入れて本機を運搬するときは、必ず立てた状態で行う**

- 絶対に横に倒した状態で運送・移動は行わないでください。パネル面が進行方向と平行になるように運送してください。
- 必ず2人以上で安定した体勢で運搬してください。
- 包装箱が倒れないように手で支えてください。
- トラックなどの荷台に載せて運送する場合は、転倒したり滑ったりしないように固定してください。

取り扱いについて（続き）

ご使用になるとき

■ **適度の音量にして隣近所へ配慮してください。**

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

■ **見る距離と部屋の明るさは**

- 画面の縦の長さの約3倍程度（4K映像は約1.5倍程度）、また新聞が楽に読める明るさでご視聴ください。

■ **本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。**

- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。（約2～3時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めている場所など）には設置しないでください。

■ **テレビの上部や液晶パネル面、キャビネットの温度が高くなることがあります。**

- 本体天面や液晶パネル面、キャビネットの温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。
（本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください）

■ **テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります。**

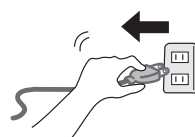
- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。

■ **かんたんミラーリング機能など、ネットワーク経由でテレビの電源を制御する機能を使うときは、本機が見える位置から操作してください。**

- ネットワーク機器（スマートフォンなど）でかんたんミラーリング機能などを操作するとき、設定によっては、本機の電源が自動的に「入」になります。

長期間使用しないときは

■ **電源プラグをコンセントから抜いてください。**

- リモコンで電源を切った場合は約 0.3 W、本体の電源を切った場合は約 0.2 Wの電力を消費します。

液晶パネルについて

■ **画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。**

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99パーセント以上の有効画素がありますが、0.01パーセントの画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■ **残像が発生する場合があります。**

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

■ **液晶パネルとキャビネットの間には隙間があります。また、液晶パネルを押すと動いたり、「カタカタ」と音がする場合があります。**

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

無線LAN/Bluetooth®使用上のお願い

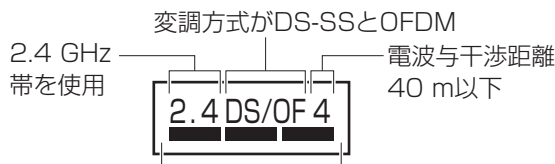
■ 使用周波数帯

無線LANは2.4 GHz 帯と5 GHz 帯、Bluetooth®は2.4GH z 帯の周波数帯を使用します。
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

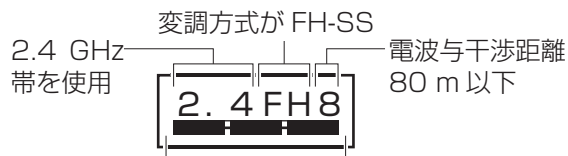
■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業･科学･医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口（裏表紙に記載）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、裏表紙のパナソニック VIERAご相談窓口へお問い合わせください。

■ 無線LANの周波数表示の見かた（本機裏面のモデル銘板に記載）

2.4 GHzの帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ Bluetooth®の周波数表示の見かた（本機裏面のモデル銘板と音声タッチパッドリモコンの電池収納部に記載）

変調方式が FH-SS
2.4 GHz 帯を使用
電波与干渉距離 80 m 以下
2. 4 FH 8

2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

■ 無線認証ID表示について

無線 LAN 装置、Bluetooth® 装置の認証 ID は以下の操作で画面に表示することができます。
[?]→「まずお読みください」→「お使いになる前に」→「認証 ID について」

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解／改造する
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- すべてのBluetooth®機能対応機器とのBluetooth®無線通信を保証するものではありません。
- すべての使用環境で無線LAN接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

仕様

■ テレビ本体

品番

60V型:TH-60CX800、TH-60CX800N
55V型:TH-55CX800、TH-55CX800N
49V型:TH-49CX800、TH-49CX800N

種類

地上･BS･110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

消費電力

60V型:302 W
55V型:254 W
49V型:175 W
本体電源「切」時　約 0.2 W
リモコンで電源「切」時　約 0.3 W※
※機能待機中(電源ランプが橙色点灯時) は、
最大約 21 W

年間消費電力量(スタンダード時)

60V型:198 kWh/年
55V型:175 kWh/年
49V型:149 kWh/年

区分名

DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1)

画素数

水平 3840×垂直 2160

画面寸法

60V型:幅 131.7 cm×高さ 74.1 cm
対角 151.1 cm
55V型:幅 121.0 cm×高さ 68.0 cm
対角 138.8 cm
49V型:幅 107.4 cm×高さ 60.4 cm
対角 123.2 cm

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

TH-60CX800、TH-55CX800、TH-49CX800

60V型:
134.7 cm×84.5 cm×37.3 cm(スタンド含む)
134.7 cm×78.3 cm×5.3 cm(本体のみ)
55V型:
123.9 cm×76.8 cm×23.5 cm(スタンド含む)
123.9 cm×72.2 cm×5.3 cm(本体のみ)
49V型:
110.0 cm×69.0 cm×23.5 cm(スタンド含む)
110.0 cm×64.4 cm×4.6 cm(本体のみ)

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

TH-60CX800N、TH-55CX800N、TH-49CX800N

60V型:
134.7 cm×82.7 cm×31.8 cm(スタンド含む)
134.7 cm×78.3 cm×5.3 cm(本体のみ)
55V型:
123.9 cm×75.7 cm×24.6 cm(スタンド含む)
123.9 cm×72.2 cm×5.3 cm(本体のみ)
49V型:
110.0 cm×67.9 cm×21.1 cm(スタンド含む)
110.0 cm×64.4 cm×4.6 cm(本体のみ)

質量

60V型:
約 26.0 kg(スタンド含む)
約 22.5 kg(本体のみ)
55V型:
約 22.0 kg(スタンド含む)
約 20.0 kg(本体のみ)
49V型:
約 19.0 kg(スタンド含む)※
約 17.0 kg(本体のみ)
※ TH-49CX800Nは、約 18.5 kg(スタンド含む)

使用電源

AC 100 V　50/60 Hz

表示パネル

液晶パネル
駆動方式:IPS方式、バックライト:LED

音声実用最大出力

40 W(10 W+10 W+10 W+10 W) JEITA
スピーカー:スコーカー2個、ウーハー2個

接続端子

NTSC関連

ビデオ入力　映像:1 V[p-p](75 Ω)
音声:左･右　0.5 V[rms]

D端子ビデオ関連

D4映像〔Y:1 V[p-p](75 Ω)、P_B/C_B:
0.7 V[p-p](75 Ω)、P_R/C_R:0.7 V[p-p]
(75 Ω)〕
音声はビデオ入力と兼用

衛星関連

BS･110度CS-IF入力(75 Ω)　兼　衛星アンテナ用電源(DC 15 V)出力

HDMI入力

3系統:本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5に対応しています。
HDMI 1端子はARC(オーディオリターンチャンネル)対応

光デジタル音声出力端子
−18 dBm 660 nm
LAN端子
10BASE-T/100BASE-TX
ヘッドホン/イヤホン端子
16～32 Ω推奨
USB端子
3系統
USB1、2端子：DC5 V　MAX500 mA｛ハイスピードUSB（USB2.0）に対応｝
USB3端子：DC5 V　MAX900 mA｛スーパースピードUSB（USB3.0）に対応｝

受信可能放送

地上デジタル放送※（CATVパススルー対応）／BSデジタル／110度CSデジタル
※ワンセグ放送を除く

動作使用条件

周囲温度：0 ℃～40 ℃
相対湿度：20%～80%（結露なきこと）

無線LAN

準拠規格
IEEE802.11a/b/g/n/ac
使用周波数範囲/チャンネル（中心周波数）
2.412 GHz～2.472 GHz/
1～13ch
5.180 GHz～5.240 GHz/
W52：36, 40, 44, 48ch
5.260 GHz～5.320 GHz/
W53：52, 56, 60, 64ch
5.500 GHz～5.700 GHz/
W56：100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ
WPA2-PSK(TKIP/AES)
WPA-PSK(TKIP/AES)
WEP(64bit/128bit)

Bluetooth®

準拠規格
Bluetooth 3.0
使用周波数範囲
2.402 GHz～2.480 GHz/
対応プロファイル※
HID
※ Bluetooth®通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ メインリモコン

使用電圧
DC 3 V（単3形乾電池2個）

質量
約 160 g（乾電池含む）

操作距離
約 7 m以内（テレビ正面距離）

操作範囲
左右各 約 30° 以内
上下各 約 20° 以内

■ 音声タッチパッドリモコン

使用電圧
DC 3 V（単4形乾電池2個）

質量
約 110 g（乾電池含む）

操作距離
電源ボタン：約 7 m以内（テレビ正面距離）
電源ボタン以外：約 3.2 m以内

操作範囲
電源ボタン：左右各 約 30° 以内
上下各 約 20° 以内
電源ボタン以外：角度に関係なく操作可能

お知らせ

- このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 年間消費電力量：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
- テレビのV型（60V型/55V型/49V型）は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 （ ） －
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

40ページの故障かな !? とビエラ操作ガイド(トップページ)の「困ったときは」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
●品 番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年
当社は、このテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-981（パナは キュウハチイチ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青　森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山　梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html　1114

ID番号	「メニュー→機器設定→システム設定→B-CASカード」で確認できる「カードID」の番号を記入してください。 問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）

●使いかた・お手入れなどのご相談は …

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口

365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-981**（パナは キュウハチイチ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●パナソニックスマートアプリの使いかたなどのご相談は…

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

http://panasonic.jp/pss/ap/

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った
タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-832**（パナは ハチサンニ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

廃棄時にご注意願います！ 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニックの会員サイト**「CLUB Panasonic」**で**「ご愛用者登録」**をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC http://club.panasonic.jp/

携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

パナソニック株式会社 テレビ事業部

〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号